

議会 ながいずみ

今年も見事に咲きました。
～桜堤遊歩道～



QRコード

2020.5.1
No.194

年4回発行(2・5・8・11)

3月定例会

長泉町の未来を見据えた議論を

令和2年度予算審議 2

事業の進捗や現状を確認 9

ズバリ！町政を問う

5人が一般質問 10

少子高齢化と防災を考える 17

広聴機能の強化のために 18

わが町たんけんクイズ 20

町の未来を見据えた議論を。

※総合計画…町のすべての計画の基本となる、行政運営の総合的な指針として町が策定する計画。現在は平成23年度から令和2年度までを計画期間とする第4次長泉町総合計画により、まちづくりを進めています。

令和2年第1回定例会は、3月2日から24日までの23日間の会期で開かれました。
令和2年度当初予算をはじめ、令和元年度補正予算、条例の改正などの議案を審議し、
すべて原案どおり可決しました。

令和2年度当初予算の詳細は、広報ながいずみ4月1日号をご覧ください。



広報ながいずみ
4月1日号

主な事業

- ・地域公共交通計画策定事業 **新**
- ・鮎壺公園整備事業 **重**
- ・中土狩日吉神社公園（仮称）整備事業
- ・定住のための新幹線通学支援事業 **重**
- ・橋梁長寿命化事業 **重** ほか

活発な都市活動を支える 便利で調和のとれたまち 【都市整備分野】

歩行者の安全のために
歩行者空間 整備事業費
4千680万円

質疑 町道中土狩竹原線
改良工事の内容は。
工事管理課長 現在の道路幅を有効に活用し、歩道の幅を両側ともに1メートル程度拡張する。段差解消は、民地側にもご協力をいただき、可能な限りフラット化する予定である。



段差解消で歩きやすい空間を



見晴らしを良くしたい
都市計画道路
高田上土狩線事業費
2億2千747万円

質疑 電線共同溝（無電柱化）の計画区間は。
建設計画課長 都市計画道路下土狩文教線から都市計画道路沿津三島線までの区間である。

交通手段の拡大を
公共交通対策事業費
495万円

質疑 地域公共交通計画の内容は。長泉・清水循環バスの運行ルート拡大の計画はあるか。
企画財政課長 まちづくりと連携した公共交通ネットワーク形成のための計画を策定する。具体的には、現状と課題を整理し、町民や公共交通事業者などの意向を確認しながら、町における公共交通の役割や目標を定め、コミュニティバスの再編、デマンド交通の拡充など取り組みを明確にしていこう予定である。長泉・清水循環バスルートも、計画策定の過程で再編などを検討する予定である。



改修工事で環境整備を

古くなった施設の修繕
施設整備費
福祉会館 2千万円
在宅福祉総合センター 3千200万円

質疑 改修工事の必要性は。
福祉保険課長 ファシリテイマネジメントによる計画であり、現状、福祉会館には雨漏りしている箇所があること、在宅福祉総合センターは空調の燃料送油管に亀裂があるなど、それぞれ老朽化の状況を踏まえた改修工事である。

総合計画最終年スタート！

令和2年度当初予算 総予算過去最大 249億円を可決。

委員会審議

※金額はすべて1万円未満切り捨て

新 …新規事業

重 …重点プロジェクト

総務民生常任委員会の審議

建設文教常任委員会の審議

を表します。

主な事業

- 住宅用新・省エネルギーシステム設置費補助金 **重**
- 同報無線アナログ波送信機改修事業 **新**
- 雨水排水路の管理の適正化 **重**
- ルミナスストリート整備事業 **重**
- 高齢者安全運転装置設置費補助金 **新** ほか

地球環境と安全・快適な生活環境を守るまち 【生活環境分野】

温暖化対策を 進める企業へ

中小企業者
省エネルギー設備
導入事業費補助金
60万円

質疑 対象者と機器は、

くらし環境課長 エコア

フシヨン21並びにISO

14001認証取得事業

者を対象に、二酸化炭素

排出抑制をはかるため、

高効率給湯器、高効率空

調機、高効率照明器具な

どの導入にかかる設計

費、物品購入費及び工事

費を補助対象とする。

災害に強い町へ

災害対策管理事業費
550万円

質疑 国土強靱化地域計

画の内容及び策定方法は、

地域防災課長 国のガイ

ドラインに基づき策定す

るものであり、地域を強

靱化するうえでの目標の

明確化をはじめ、脆弱性

評価に基づく課題の整理



高齢者の安全運転のために

高齢者の事故を防ぐ

高齢者安全運転装置
設置費補助金
100万円

質疑 何件の申請を見込

んでいるか。

地域防災課長 30件の申

請を見込んでいる。

ヤリスクへの対応方策な
どの検討を行い、重点化
すべき事業を選定するも
のである。このため、当
該計画の策定は、既存の
各種計画との整合性をは
かりながら進めていく予
定である。

主な事業

- 起業・創業支援事業費補助金 **新**
- 狩猟免許取得事業補助金 **新**
- 地域産業立地事業費補助金
- 長泉わくわく祭り、産業祭の開催 ほか

産業が力強く育つ 活力あるまち 【産業経済分野】

混雑を解消して 楽しいイベントに

産業祭事業費
750万円

質疑 昨年度から予算を
増額した理由は、

産業振興課長 産業祭の

最大の課題は交通渋滞で

あることから、令和2年

度は公共施設などの駐車

場から健康公園までシャ

トルバスを手配すること

を検討している。

町内へ新規参入

地域産業立地事業費
補助金
1千800万円

質疑 進出企業の業種と

進出予定地は、

産業振興課長 生産用機

械器具製造業の町外企業

であり、進出予定地は下

長窪地内のファルマバ

レーセンター南側で、平

成29年3月に市街化区域

に編入した区域内である。

主な事業

- ・禁煙外来治療費助成金 **新**
- ・若年がん患者妊孕性温存治療費助成金 **新**
- ・パークゴルフ場整備事業 **重**
- ・幼保おたすけ人材バンク事業 **新**
- ・南幼稚園認定こども園化整備事業 **重** ほか

ふれあいささえあい 健やかに暮らせるまち 【健康福祉分野】



潜在保育士の発掘
児童福祉管理事務費
108万円

質疑 幼保おたすけ人材バンクの広報の方法は。登録目標数値は。
こども未来課長 広報紙やホームページで募集するほか、資格を持った在園時の保護者向けに園に案内を配架したり、潜在保育士復帰研修セミナーの参加者へ声掛けし募集していく。目標は15人程度で、園で行う研修や職員出張の際の補助など、ピンポイントの活用で月4回を見込んでいます。



待機児童解消へ

新しいこども園
幼稚園施設整備費
4千374万円

質疑 南幼稚園のこども園化に伴う定員及び受け入れ区分は。
こども未来課長 保育園の部、幼稚園の部ともに3歳児22人、4歳児25人、5歳児25人となり、計6クラス、合計144人である。

質疑 支援プランとはどのようなものか。
課長 妊娠期・出産期・子育て期を通じ支援が必要と判断した場合に、いつ、どこが、どのような支援を行うかなど、具体的な支援内容を入れた個別のプランを策定することになる。

子育ての悩み伺います
母子包括支援センター
会計年度任用職員
人件費
278万円

質疑 母子包括支援センター事業の中の新規事業の概要は。
健康増進課長 妊娠期・出産期・子育て期を通じて、必要な方への支援プランの策定などの事業を行っている。

国民健康保険の医療費を抑えるには
質疑 医療費抑制のため、に力を入れる保健事業は。
福祉保険課長 特定検診未受診者の受診状況に合わせた受診勧奨の実施や、集団検診をイベント等に合わせ実施して受診率の向上をはかるとともに、早期治療に結びつけることで医療費抑制につなげる。

高齢者支援のために
高齢者保健福祉計画
策定事業費
230万円

質疑 新たにどのようなことを行うのか。
長寿介護課長 令和元年度に実施したアンケート調査の結果を考慮しながら、令和3年度から5年度までを計画期間とし、団塊の世代が75歳に到達する2025年に向け、地域包括ケアシステムの推進の観点から事業計画の策定を進めていく。

町政はさまざまな分野にわたっていることから、町の事業を大きく2つの分野に分け、議員が2つの常任委員会に分かれてそれぞれの分野の専門的な審査や調査を行っています。当初予算や補正予算、条例の改正、決算などは常任委員会が審議が行われ、委員会での採決を経たのちに、全議員がそろって本会議での採決が行われます。

教えて！議会用語

「委員会審議」



主な事業

- ・グローバル化の進展に対応した教育の充実 **重**
- ・新たな ICT を活用した学習環境の整備 **重**
- ・教育アドバイザーの配置 **新**
- ・桃沢野外活動センター他 2 施設大規模改修事業
- ・オリンピック聖火リレー関連事業 **新** ほか



質疑 教育アドバイザーの採用人数と、どのような人材を採用するのか。
教育推進課長 教員にアドバイスする役割となることから、学校現場を熟知し、教育に関して深い知識と経験を有していることが必要であり、退職校長 2 人を充てることを考えている。

豊かな心と 生きがいを育むまち 【教育学習分野】

若い教員のフォローを

教育アドバイザー
会計年度任用職員
人件費
670万円

支援を拡充

要保護・準要保護
児童・生徒就学援助費
小学校 971万円
中学校 881万円

質疑 就学援助の増額の要因は。
教育推進課長 町の就学援助費の支給額の根拠となる国の支給単価の引き上げや、就学援助費を支給する児童・生徒の見込み数が令和元年度より増加したことによる。具体的には、小学校費は、新入学学用品費の新小学 1 年生、新中学 1 年生ともに支給単価が 1 万円増、さらに新中学 1 年生の 10 人増、給食費 22 人増を見込んでいる。中学校費も、新入学学用品費の新中学 1 年生の支給単価が 1 万円増、その他修学旅行費を支給する中学 3 年生の 10 人増を見込んでいる。



安全対策を万全に

質疑 ホール天井改修工事の工事期間と利用者への周知方法は。
生涯学習課長 令和 2 年 10 月から令和 3 年 3 月までの 6 カ月間を予定している。周知は、館内掲示や予約受付時に説明するほか、定期的な利用団体に対しては直接代表者に説明するなどの方法で周知を進めている。

安全に
利用できるように

コミュニティ
ながいずみ
施設整備費
39970万円

主な事業

- ・都市ブランド戦略事業 **重**
- ・国勢調査の実施 **新**
- ・協働によるまちづくり推進事業補助金 **重**
- ・RPA実証実験事業 **新** ほか



住民による意見を町政に反映

質疑 事業の内容は。
行政課長 引き続き、町の魅力や資源を情報発信していくため、町内向けには住民参加型のお土産開発プロジェクトや魅力実感バスツアーの実施、町外向けにはインスタグラマーによる情報発信、長泉未来人によるフリーペーパー作成などの各種事業を実施する。

パートナーシップが確立し 良質なサービスが効率的に 提供されるまち 【行財政分野】

町の魅力を発信

都市ブランド戦略
事業費
1千19万円

令和元年度 補正予算

学習環境の整備

小学校施設整備費
5千204万円
中学校施設整備費
3千8万円

質疑 GIGAスクール構想に基づく校内LAN整備の工事内容は。

教育推進課長 平成16・17年度に整備した校内LANケーブルを、高速大容量での通信が可能な、国の標準仕様で補助対象となるものに敷設替えを行うとともに、関連機器の更新を行うものである。

※GIGAスクール構想：児童・生徒向けの1人1台学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを、一体的に整備する構想。

計画策定を優先

公共交通対策事業費
△513万円

質疑 減額補正となった経緯は。

企画財政課長 当初はジャンボ型タクシーによる実証運行を計画していたが、地域公共交通会議において委員から公共交通において委員から公共交通がコンパクトなまちづくりと連携したネットワークが必要であり、実証運行の前に計画を策定すべきとの意見があったことなどから、まずは令和2年度に計画を策定し、3年度に改めて実証運行を行う予定である。

会計	補正予算額
一般会計	2億9,216万円
国民健康保険事業	2,383万円
介護保険事業	11万円
水道事業	△300万円
土地取得事業	6万円

条例の 制定ほか

長泉町がん対策 推進条例

〔内容〕町のがん対策の基本理念を定め、総合的かつ計画的に対策を推進することで、町民の健康保持の増進と健康寿命の延伸をはかる。

質疑 通年のがん検診実施は可能か。

健康増進課長 例年、がん検診は6月から10月まで実施している。11月以降はインフルエンザ予防接種やインフルエンザを含む感染症対応にあたるということで、医療機関からは難しいという意見が出されているが、11月以降に集団検診を実施することは検討できる。

長泉町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例

〔内容〕町の豊かな自然環境、美しい景観及び町民の生活環境の保全と、再生可能エネルギー発電事業との調和をはかり、豊かな地域社会の発展と地球温暖化対策推進に寄与する。

質疑 事業の抑制区域を新東名高速道路より北側と規定した意図は。

建設計画課長 ゴルフ場が再生可能エネルギー発電事業に転換される可能性があることや、駿河平地区の良好な住環境を保全する必要があると判断し、規定した。

長泉町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

〔内容〕国保税の税率などの改正。課税限度額の見直しとして、基礎課税分の課税限度額を58万円から61万円に引き上げる。

質疑 税率改正による負担増、負担減の世帯数は。

福祉保険課長 負担増の世帯は約3千900世帯、変動のない世帯が約190世帯、負担減の世帯は約490世帯である。

質疑 著しい増税につながらない配慮をしたか。

課長 基金の取り崩しをするなど配慮をしている。



国保からのお知らせ

長泉町営駐車場の設置、管理及び使用料に関する条例の一部を改正する条例

〔内容〕町営駐車場の休業日及び営業時間の変更と、それに伴い夜間使用料を新たに設定するもの。

質疑 24時間営業にする理由と夜間料金（1時間あたり100円）の根拠は。

生涯学習課長 かねてから町民などから要望があり、それに応えるものである。夜間料金は、近隣の駐車場を参考にして設定した。

人事（同意）

固定資産

評価審査委員会委員

伊藤 雅之氏（再任）

鈴木 博行氏（再任）

高野 和貴氏（新任）

原案に対する討論

教えて！議会用語

「討論」



議案の採決の前に、議員個人として賛成・反対の意見を示すことをいいます。議員個人が考える議案の問題点などを指摘して、他の議員の賛同を得るために行われます。

国保条例の一部改正

反対討論（福田明議員）

今回の条例改正により、多額の資産がある方は保険料が安くなるが、資産が少ない低所得者である被保険者の85%が増税になる。低所得・中間層に配慮するのであれば、国の国庫負担を大幅に引き上げ、国民の負担を軽減するのが筋ではないか。

賛成討論（加藤祐喜議員）

加入者の保険税負担が重くなっている状況において、ただ税率を改正するのではなく、今後の町の国保制度を維持していくために将来を見据えて考えたものであるとともに、激変緩和措置をとるなど十分に考慮されたものである。今後も国保財政の安定化と保険税負担軽減をはかるための施策について、中長期的な視点をもって努力されることを望むものである。

令和2年度一般会計予算

反対討論（福田明議員）

- ・ 保育園の副食費を無償化するべき。
- ・ 学校給食費の半額補助や地場産品購入費の増額を。

賛成討論（下山和則議員）

歳入では、町債の借入額が前年度比25%減となっており、健全財政維持を視野に入れた必要財源の確保であると評価できる。歳出では、鮎壺公園整備や母子包括支援センター事業の実施、がん対策推進条例の制定に伴う助成事業など評価できるものである。今後も健全財政を維持しながら、町民の信頼と期待にしっかりと応えていただくことを要望する。

反対討論（木下章夫議員）

- ・ 住民サービスの向上を目指していない。
- ・ 費用対効果の検証をしていない。
- ・ 貯金があるのに住民税や固定資産税などの軽減を考えていない。
- ・ 誰の何のための予算なのか考えていない。

賛成討論（加藤祐喜議員）

歳入面では自主財源比率は依然として非常に高い水準にあり、行政運営の自主性や安定性がしっかりと確保されている。歳出面では、新たに策定する第5次総合計画へつなげることを意識した取り組みがうかがえる。これまで良好な財政状況を背景に、さまざまな先駆的取り組みを実行することで着実に発展してきた。今後も健全財政を維持しながら町民の期待にしっかりと応えていただくことを要望する。

令和2年度 国保特別会計

反対討論（福田明議員）

現在の標準保険料率は、高齢化による給付費の増加などによって毎年のように引き上がる仕組みとなっている。

賛成討論（加藤祐喜議員）

国保税の均等割、平等割をやめること、根本的には国庫負担率を1984年以前の50%以上に回復するように政府に要求していくべき。

歳入は、保険税率の見直しにより増額とする一方、基金繰入金の減額は健全な運営のためにやむを得ないものと考えている。歳出は、医療費抑制のための短期人間ドック助成や特定健診・特定保健指導などの保険事業が計画され健康づくり推進がはかられている。引き続き、特定健診の受診率や収納率の向上等に取り組みなど、一層の経営努力を重ねてもらいたい。

令和2年度 介護特別会計

反対討論（福田明議員）

高い保険料を払い続けてきた人が、要介護と認定されたにもかかわらず保険給付に基づきサービスが使えないのは大問題。介護保険料引き下げのための一般財源の繰り入れを積極的に行うべき。

賛成討論（加藤祐喜議員）

町では地域包括支援センターを町内3カ所に設置し、地域における居場所づくりや新たな地域支援事業を開始して相談体制と生活支援の充実をはかるなど、健康寿命の延伸、在宅生活の支援に向けた積極的な予算編成がされている。

総務民生常任委員会の審議

建設文教常任委員会の審議

を表します。

その他の審議

令和2年度
補正予算

会計	補正予算額
一般会計	2,600万円

中小企業を支援

経済変動対策貸付金
利子補給事業費
(補助金)
2千600万円

〔内容〕新型コロナウイルス感染症拡大により売り上げ減少が見込まれる企業に対し、県の融資制度を利用した場合、県が行う利子補給に町が独自で行う利子補給を上乗せするもの。

質疑 新型コロナウイルスがいつ終息するかわからない中、この増額分で足りるのか。

産業振興課長 県の制度融資の受付期間が延長される可能性もある。毎月の申請状況を確認しながら、必要であれば再度補正をさせていただきたい。

質疑 県制度融資の、町内企業の申請状況は。
課長 現在、5件を受けている。

小永井康一議員に再度猛省を促す決議

小永井康一議員は、令和元年9月に建設文教常任委員会に就任以降、2度にわたって同委員会に正当な理由なく遅刻した。

1回目は令和元年12月3日で、この時点で本人より弁明を聞き、謝罪、反省、今後の決意について反省文を同委員長あてに提出させた。

委員長より口頭にて嚴重注意を行い、今後規則、ルールを破った場合には次の手段を取ることを伝え、本人の了承を得た。

前回からわずか3カ月余りの令和2年3月11日、同委員会にまたしても遅刻し、本人から弁明を聞いたが、正当な理由はなかった。

同委員会では、前回注意をしたにもかかわらず、同様の事象が繰り返されたことを重く受け止め、本決議提出に至ったものである。

小永井康一議員は過去にも、その言動から平成28年11月に6日間の出席停止の懲罰、平成29年3月に議員辞職勧告決議、平成30年3月に猛省を促す決議を受けており、こうしたことが繰り返されていることは極めて遺憾である。

小永井康一議員の言動により、議会及び当局はその対応に無駄な労力と時間を費やし、結果として町民に損害を与えていると考えるべきである。

議会運営には一定のルールがあり、マナーが強く要求される。ましてや住民の代表であり、町的意思決定を行う議員は、法規によって規制されるまでもなく、ルールの順守は当然のことである。

以上、小永井康一議員に猛省を再度促し、議員としての自覚と責任を厳しく問うものである。

議員	審議結果	下山和則	長野晋治	加藤祐喜	米山智	福田明	小永井康一	宮口嘉隆	植松英樹	下山哲夫	木下章夫	大沼正明	四方義男	山田勝	井出春彦	柏木豊
議案																
長泉町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
令和2年度長泉町一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	—
令和2年度長泉町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和2年度長泉町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和2年度長泉町介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
小永井康一議員に再度猛省を促す決議	可決	○	○	○	○	○	—	×	○	○	×	○	○	○	○	—

3月定例会
審議議案と採決結果

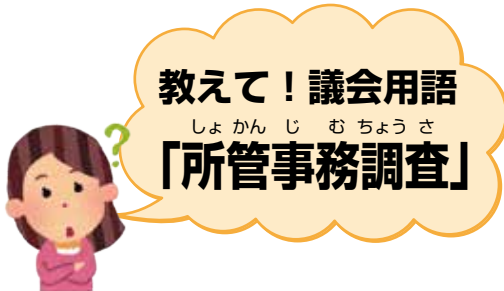
賛否が分かれた議案のみ掲載しています。

○は賛成、×は反対、議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ採決に参加します。

事業の進捗や現状を確認

～所管事務調査～

令和元年11月定例会より、常任委員会による所管事務調査の取り組みが始まりました。
ここでは令和元年11月定例会と、令和2年3月定例会の会期中に行われた調査の内容を紹介します。



教えて！議会用語

しょかんじむちょうさ

「所管事務調査」

町から提案された予算案や条例案などの議案を審査するのは異なり、常任委員会が自主的にテーマを設定して調査を行うもの。

がん検診の現状と課題



受診率日本一を目指す（静岡県立静岡がんセンター）

健康増進課より町のがん検診の受診率の現状や、受診率の向上のための取り組み、がん検診のメリット・デメリットを確認した。

受診率日本一を目指している中、受診率の目標を国と同じく50%としているが、東北地方の自治体は既に50%以上の受診率を誇るところもある。長泉町に立地している静岡県立静岡がんセンターや、医師会なども巻き込んで取り組んでいくべきである。また、町民ががんに関する正しい知識を持ち、理解を深めるために静岡県立静岡がんセンターと連携し、町内施設にがん対策に関する情報コーナーを設置するなどの検討もしてもらいたい。

3月定例会にて条例案が上程され、総務民生常任委員会及び本会議にて全会一致で決。

給食の在り方を考える

学校給食センターの設備能力や、給食費無償化に対する考え、アレルギー除去食の対応の流れなどを確認した。

給食費の徴収方法は、現在現金で徴収している。教員の多忙化解消を目指すなら口座振替のほうがよいが、口座振替にすると徴収率の低下が懸念されるというデメリットもあることがわかった。

給食は、地場産品を使うこととなっているが、役場の関係課と連携することで、より一層地産地消を進めるよう努力してもらいたい。



地産地消の推進を

ズバリ!

町政を問う

5人が一般質問

1 小永井 康一 議員

- 1 現火葬場解体計画とこれまでの火葬場に関する答弁への対応を問う

2 植松 英樹 議員

- 1 長泉町の人材力・潜在力向上の取り組みを
- 2 施政方針を問う
- 3 教育方針を問う

3 福田 明 議員

- 1 将来に向かって住みよい町とするために

4 加藤 祐喜 議員

- 1 新たな市街地に対応する土地利用の推進
- 2 みんなが育てやすい子育て体制を

5 四方 義男 議員

- 1 世情を捉えた攻めと防御
- 2 施政方針を問う
- 3 教育方針を問う

一般質問とは…議員が町政全般の執行状況や方針、課題などを、執行機関に直接質問すること。



長泉町には考える時間がある。

小永井議員 一般質問映像

こながい
小永井 康一
議員



現在地利用の考えも一部あったが

Q

火葬場移転で葬儀1件あたりの町民の個人負担は

A

葬儀業者によって料金は異なる

火葬場を残すメリットとデメリット

問 現火葬場の耐用年数は残り何年か。

課長 現火葬場の耐用年数は耐用年数20年を超過している。昭和43年に新築した建物は現行の耐震基準も満たしておらず、耐用年数が残り何年というレベルの話ではない。

問 平成元年の大規模修繕で煙突が変わったが、火葬炉は。

課長 1号炉・2号炉ともに入れ替えを実施した。

問 町が考える現火葬場を残すメリットデメリットは。

課長 裾野市と共同で、新火葬施設整備工事に着手している。完成を待つて現火葬場を解体するた

め、メリットデメリットを論ずるべきでない。

問 大規模災害時に火葬炉が足りなくなる想定は。

課長 現火葬場を災害など不測の事態を想定して存置する考えはない。

建て替えの法解釈

問 都市計画決定済と同等と解釈される火葬場を同規模で建て替える行為は違法か。

課長 都市計画決定と建築基準法は、法令も適用範囲も別の規定であり、同等の扱いとはなりえないことから、間違った内容を前提とする仮設の質問には答えられない。

問 現火葬場は都市計画決定をしなくても、建築基準法上は建築確認だけ

で建設ができることで間違いないか。

課長 現火葬場は建築基準法によって建てられていることを確認している。

問 都市計画の手続きをしなくても問題ないのか。

都市環境部長 問題ないと判断している。

今後の課題

問 斎場が裾野市に移転することで町民のコストは増えるか。裾野新斎場とみしま聖苑との比較は。

課長 葬儀1件あたりの負担額は、霊きゅう車・バスなど車両代は各業者によって料金が異なる。使用料は裾野広域斎場は無料、みしま聖苑は有料である。仮に町民がみしま聖苑を利用した場合の管外使用料

金と現火葬場が裾野広域斎場に移転した場合の霊きゅう車などの車両代の差額分を比較しても、使用料を上回ることがないことを確認している。

問 火葬場跡地利用の方向性は。

課長 下土狩共同墓地内の無縁納骨堂が飽和状態のため、新たに無縁納骨堂を設置したい。それ以外の土地は駐車場施設として貸し出すことを考えている。

問 以前と答弁が違うが、いつ納骨堂になったのか。

町長 いつ決めたとかではなく、方向を検討している私の政治判断によって検討した結果である。



起業・創業支援事業費補助金の活用を

スピード感を持って着実に進めていただくことを期待する。

植松議員 一般質問映像



植松 英樹
うえまつ ひでき
議員

Q 住民の夢やチャレンジを応援する取り組みを

A 第5次総合計画の中で取り組みの充実をはかる

起業・創業支援の取り組みを

問 町民の夢やチャレンジする機会に対して、町が応援していく仕組みを構築しては。

企画財政課長 支援の具体的な制度設計は難しいと考えるが、現状の国や県の支援制度をPRして

いながら、支援の在り方を研究していく。

問 「あなたの夢を応援する町、ながいずみ」推進に対する町の見解は。

町長 令和2年度の新規事業として、町内で起業・創業する方に対して補助金を交付し、その背中を押していく。今後は第5

次長泉町総合計画の中で取り組みの充実をはかっていきたい。

人事処遇制度の検証を

問 有能な人材を確保するため、人事処遇制度の見直しを。

総務部長 給料体系も含めた処遇制度の改善によ

り、職員の能力に応える体制を研究していきたい。

問 教員の勤務時間の適正管理とは。

教育推進課長 今後はより正確で簡単に行えるよう、ICカードを活用したシステムの導入も視野に研究を進めていきたい。

Q 各種施策の確実な推進を

A スピード感を持って着実に取り組む

保育需要増への取り組み

問 早期の待機児童解消に向けた決意は。

町長 町長就任以来、待機児童対策として受け入れ体制の拡大をはかってきた。今後、小規模保育事業所整備への支援、町立南幼稚園の認定こども

園化など施設整備とともに、潜在保育士が現場復帰しやすい環境を整備し、新たに保育士などの登録制度を設け、保育現場のサポートを充実していく。

新火葬場施設の整備

問 これまで議会で、裾野市との共同整備案が賛

成多数で可決・承認されてきた。これからは町民の利用を想定し、次のステージへの対策を検討する必要がある。改めてその取り組み姿勢を伺う。

くらし環境課長

3月末での工事進捗率は、計画どおり約12%を予定。4月からは建物の基礎工事に着手する。施設完成後

の管理は直営でスタートし、民間への移行を視野に進めていきたい。また、予約方法など住民サービスの向上や業務改善につながる方法を研究していく。引き続き、工事の進捗状況などの情報提供を住民に行い、令和3年度の供用開始に向け準備を進めていく。



多少先のことも具体的に
考えていくことが必要。

福田議員 一般質問映像

福田
明
議員



平和な世界を目指して

Q

幼児教育・保育無償化での給食費を無料に

A

町独自の施策で経済的負担を軽減している

核兵器禁止条約の推進

問 国に、条約を進める
要望書を提出する考えは

総務部長 本条約は、核

兵器保有国と非保有国の

対立を一層深め、またそ

れぞれの国がともに参加

する枠組みを追求してい

くことがあるべき姿であ

ることから、条約の署名

を行っていないと理解し

ている。今後、広島市

へ中学生代表を派遣して、

核兵器や戦争の悲惨さ、

平和の尊さを次の世代に

引き継ぎ、世界平和の実

現に貢献していきたい。

教員の働き方改革

問 国のガイドライン以

下の教員はどのくらいい

るか。

教育推進課長 令和元年

度の4月から12月までの

調査では、小学校で44%

中学校で18%がガイドラ

イン以下で勤務している。

問 1年単位の変形労働

時間制の導入を、教員の

声を聞いて進める考えは。

課長 今回の法改正は、

教員の働き方改革の推進

を目的とした新たな取り

組みであり、学校現場で

どの程度効果的で実効性

があるか研究する必要が

ある。積極的に学校現場

の声を聞いていく。

幼児・保育支援

問 幼児教育・保育無償

化で給食費を無料に。

こども未来課長 国の基

本的な考え方に基づき、

これまでどおり主食も含

めた給食費は保護者にご

負担いただく考えだが、

国の支援制度に加え、町

独自の制度では、保育料

同様第2子は半額、第3

子以降は無料としている。

ひとり親家庭支援

問 ひとり親家庭支援に

対する支援事業は。

課長 疾病、事故などで

親が死亡した義務教育終

了前の児童を持つ保護者

に対し、遺児手当等を支

給している。また、20歳

に達する日の前日までの

児童を扶養する所得税非

課税の母子家庭などに対

し、医療費を助成してい

る。

行政改革プラン

問 各種審議会委員への

女性の積極的登用の達成

状況は。

生涯学習課長 第4次長

泉町総合計画、第2次男
女共同参画プランで、令
和2年度までの女性委員
の目標比率を30%と掲げ
ているが、平成31年4月
1日時点で31・8%とな
り、目標は達成している。

男性職員の育休

問 男性職員の育休取得

状況と取り組みは。

行政課長 過去に1人、

令和元年度にも1人長期

にわたる休業を取得して

いる。子育て支援職員プ

ログラムに基づく子育て

応援ハンドブックを作成

し、過去5年間で男性職

員の対象者25人全員を対

象に、子育てミーティン

グを行っている。



相談しやすい体制づくりを

総合窓口が、みんなが育てやすい子育ての体制の一部になることを期待。

加藤議員 一般質問映像



加藤 祐喜
かとう ゆうき
議員

Q

子どもの悩みに対応する今後の考えは

A

総合的な窓口を新たに設置する

子どもの悩み相談

問 相談体制は。

住民福祉部長 子どもに

関する相談は、子ども自身のものから子育ての環境に関するものなどさまざまなものがあり、その内容によって担当部署が異なっているのが現状である。住民福祉部門では、健康増進課や福祉保険課が支援を行っている。

教育部長 教育委員会では、教育推進課や生涯学習課、こども未来課で対応しており、専門職としてスクールソーシャルワーカーや特別支援教育専門員、保育コンシェルジュなどを配置している。

問 各課の情報共有や連携体制は。

住民福祉部長 平成26年

度から連絡調整会議を設け、平成30年度から、福祉保険課、健康増進課、教育推進課、こども未来課の4課で、毎月1回会議を開催している。

この会議は、障害児の支援連絡調整や要保護児童対策地域協議会の乳幼児部会の機能も担っている。また、緊急対応を要するケースが生じた場合には、速やかな対応がはかられるようケース会議を開催し、情報共有と県を含めた関係機関との連携、具体的な支援策などの検討を行い問題解決に向け取り組んでいる。

問 課題は。

教育部長

相談は成長過程において異なり、関係機関を横断するような複雑な内容があることから、相談者にとっては相談窓

口がわかりにくいことが考えられる。相談を受ける側では、内容が複雑化しており、単独の部署のみで完結することには限界があり、しかるべき支援をするには職員の高い専門性が求められ、相談対応や支援をはかるうえで適切な専門職を配置する必要がある。

問 今後の考えは。

町長 各世代の悩みに対応するためには、専門職の配置など支援するための環境が必要だが、すべての相談に対応するため多種にわたる専門職を配置するなど、一気に支援体制を整備することは難しい。まずは、悩みを抱える保護者がどこに相談に行けばいいのか、わかりやすく窓口を一本化して示すことが最優先と考

える。子どものさまざまな成長過程において、保護者が抱える「育ちにくさ」や「育てにくさ」といった問題に対し、保護者に寄り添った支援体制構築のため、子どものライフステージに応じた総合的な相談窓口を新たに設置する。

その他の質問

- ・ 町北部方面の企業誘致の状況、新たな事業用地の確保
- ・ 新たな雇用などの受け皿となる住宅地の確保



町の実情に合ったものを
追求して欲しい。

四方議員 一般質問映像

よも
四方

よしお
義男
議員



公共交通の結接点に最適では

Q

隣市が取り組む未来都市構想への町のスタンスは

A

県や周辺市町と連携して取り組む

未来都市像の研究

問 隣市では計画の実証都市構想がある。先進技術を導入したまちづくりについて、どのように考えているのか。

副町長 実証都市では、地域におけるさまざまな行政課題解決に向けた実験も行われると聞いている。県も周辺市町と連携して全面的な協力体制を取っていることから、町も実証都市に関連した活動に参画するとともに、今後の状況や情報に注視し積極的な対応をする。

予防伐採の検討

問 県は昨年の台風被害を教訓に、電線などを断線させる樹木を未然に除去する予防伐採を始めた。

危険度や優先度も勘案する現地調査などの検討は。

工事管理課長 町道の沿線がほぼ私有地であり、本来は所有者側で伐採することが望ましい。町では、県東部管内で構成する沿津熱海土木事務所管内土木行政研究会などの場を活用し、県や他市町、東京電力パワーグリッド(株)との情報交換を行うとともに、森林環境譲与税、森の力再生事業などの活用や他の補助制度の研究をしている。

新たな特殊詐欺の対応

問 特殊詐欺の新たな傾向への認識を深め、さらなる周知・啓発を強化すべきと考えるが、町の対応は。

くらし環境課長 町では、社会福祉協議会主催の、

ひとり暮らし高齢者食事会の際に注意喚起を促すなど、被害に遭わないように注意を呼び掛けている。今後は、各地区のシニアクラブの活動時などで裾野警察署とともに特殊詐欺被害防止に向けた啓発活動を強化していく。

また、迷惑電話非着信装置設置事業を積極的に推進し、特殊詐欺根絶に向けて最新の犯行手口や対処法を町広報紙で啓発していく。

施政方針

問 町に合った、まちづくりと連携した公共交通ネットワークを構築するための地域公共交通計画の策定とは。

企画財政課長 長泉町立地適正化計画に基づき、複数の交通結節点を設定

し、各地域から最寄りの交通結節点までの移動手段を確保する「幹線・支線」といった役割分担を明確化することで、交通空白地域が生じないようにする。

教育方針

問 令和2年度、基本方針にある今日的課題への確な取り組みとは。

教育長 学校現場が抱える今日的課題は、新学習指導要領の全面実施に伴う対応である。また、A-1の飛躍的な進化があっても、たくましく、自分らしく豊かに生きていくことができる力「生きる力」をすべての子どもたちに育むことが最も重要である。

・防災を考える

町の課題や対応策は？



今後も町民の皆さんと直接議論できる場をつくっていく予定です。ぜひご協力をよろしく願います。

2月10日、広報広聴常任委員会主催で、ネットワークながいずみの会員の皆さんとの意見交換会を行いました。

会員12人の皆さんにご参加いただき、「少子高齢化に伴うまちづくり」と「防災」をテーマに2グループずつに分かれ、意見交換を行いました。

女性ならではの視点から導かれる意見の数々は大変参考になりました。いただいたご意見は、今後の町の提言などに活かしていきます。



上がった意見のまとめ作業
同じテーマでも、グループごとに視点が異なるのが興味深かったです。

少子化関連

- ・夫婦共働きの世帯と、休校園時の子どもの居場所づくり
- ・病児保育施設を町内へ
- ・双子や三つ子などを育てる世帯への支援
- ・男性の育児休暇取得の支援
- ・婚活のすすめ

夫婦共働きの世帯が増えていくという背景から、さまざまな意見が上がりました。

高齢化関連

- ・地域性、継続性を考慮し、公共交通デマンドタクシーの利便性を再検討する。
- ・ひとり暮らしの高齢者同士のつながりの場の提供
- ・高齢者のスキルを生かす活躍の場を提供
- ・高齢者と子どもが交流できる場をつくる。

高齢化の進行による高齢者への支援策や、地域とのつながりの観点からの意見が多く上がりました。

少子高齢化に伴うまちづくり

高齢化関連



グループごとにまとめた意見を発表。皆さん真剣に耳を傾けていました。

ネットワークながいずみ

男女共同参画社会の形成や、心豊かで生きがいのある地域社会をつくることを主たる目的として、町内で活動している女性団体。近年は女性ならではの視点を生かした防災の在り方の検討などに力を入れている。

少子高齢化



グループに分かれて意見交換。まとめの段階では、皆さん立ち上がって熱い議論が行われていました。



全国的にも自然災害が多発していることから、防災への関心の高さがうかがえました。

災害発生時の対応

- ・まずは自助が大事。指示を待つのではなく、自分の判断を優先する。
- ・携帯電話の充電場所の確保
- ・町から状況に関する情報の発信を的確に行ってほしい。
- ・病人や高齢者などの災害弱者への配慮が必要。

防 災



個人で意見を出し合い、問題を洗い出します。

事前の備え

- ・日ごろから近所と付き合い、災害時の連携を考える。
- ・防災グッズやトイレ凝固剤、食料の備蓄など、避難時の準備を日ごろからしておく。
- ・避難所の選定は的確か。
- ・避難経路の確認
- ・防災訓練でコミュニケーションを繰り返し行う。
- ・現行の防災訓練は有効か。
- ・無関心層をどうするか。

参加者の 自由意見

【今後の報告会テーマ】

- ・女性が働きやすい体制、システムづくりを、高齢化、子育てのサイドから考える。
- ・自主防災の充実
- ・町の未来像

【意見・感想】

- ・議員と町民は、密着している人と離れている人との差が大きい。もっと町民が聞きたくなる報告会を行ってほしい。
- ・今回出た意見をどう活用するかが課題。
- ・議員と話ができ、議員のことを知る機会となった。
- ・参加者を集めるのではなく、議員が出て行ってみんなが言いにくいことを聞きに行くことも必要。
- ・若い世代との交流の場を設け、中・高校生に選挙に関心を持ってもらう機会を設ける。

先進地で聞いてきました！

広聴機能の強化のために

広報広聴常任委員会は、議会だよりの発行などを通じた「広報」の機能と、住民の皆さんの意見を伺う「広聴」の機能を持っています。広聴業務の一環として前ページに掲載した議会報告会などを行っていますが、より広聴機能を強化するために、先進自治体の視察を行いました。

滋賀県米原市

議会改革の一環として、多様な市民意見の把握のために、平成25年から議会報告会や意見交換会を実施している。近年は参加者の減少や固定化が見られ、課題点も出てきた。

また、本年度は新元号を記念してこども議会を実施。委員会で条例案を作成し、本会議で採決する流れを体験してもらった。子どもに参加してもらうことで親の議会への興味も促すことができ、また子ども自身に対しても、子どもの頃から故郷のことを考えるようになってほしいという期待もある。



こども議会の内容を確認



意見交換の実情を探る

岐阜県高山市

小学校区とまちづくり協議会が重なる市内21カ所で実施している地域別市民意見交換会は、全議員を班分けして地域ごとにテーマを設定して実施している。回を重ねるごとに市の将来を見据えた意見が多く見られるようになってきた。意見交換の形式は対面式、車座など当日の参加人数などで判断している。

その他、常任委員会が主体となって各種団体を相手に実施する分野別市民意見交換会、団体からの申し込みによって実施する手挙げ式市民意見交換会、市内高校生との意見交換会なども実施している。

岐阜県可児市

平成23年に市民向けアンケートを実施したところ、議会の活動内容を知らない、市民の声が反映されていないといった意見が多数を占め、情報公開と市民との意見交換会の充実が必要という結論に至り、議会改革に着手した。

議会報告会、地域課題懇談会などで出された意見は市への提言に反映したり、意見に対する市の対応の報告など、意見聴取後の流れが確立されていた。その他、議会・学校・行政・地域との協働を目的に、ママさん議会、模擬選挙、高校生議会などにも取り組んでいる。



市民アンケートにより議会改革が進む

期待しています

私の要望・意見

2月1日号の「わが町たんけんクイズ」に応募していただいた中から、ご意見を抜粋して紹介します。

災害への備えを

先日の大雨で、初めて避難所の必要性を認識しました。しかし、避難所へは自動車で行っても大丈夫なのか、車だけ避難したい場合はどうすればよいのかなど、具体的なインフォメーションが必要と思いました。

(40代女性)

広域避難場所にあるトイレで未就学児を対象にしたものはないことを、今回の記事を見て知った。各家庭での準備が必要であることをもっと広げていきたい。小さな子どもがいる家庭では、災害に向けて準備したほうがよいものも少し違ってくると思うので、そのような講座も町で開催してほしい。

(40代女性)

先生の体が心配です

教員の平日業務の削減に関する質疑がありましたが、子どもたちの登校時間が早すぎることが気になっていきます。登校や朝運動の見守りで、先生方が午前7時過ぎには出勤されていますよね。安全な登校のために時間に余裕をとっているうちに、余剰という気持ちになります。それでもせめて、登校（学校到着）時刻を7時30分以降にできれば、先生方の朝の時間帯の負担が減るのではと思います。

(40代女性)

町の発展はすごいなと思うばかりですが、教員の業務の削減に関してはまだまだなのではと感じています。午後10時過ぎに長中前を通ることがありますが、いつも電気が付いていて、何時に先生方は帰宅するのだろうか心配になります。

(30代女性)

議会広報の在り方は

いつも拝見しています。行政の考えを知ることができる貴重な情報源だと感じています。しかし、本当に町民の声が届いているのかは疑問で、書面だからこそつわべやきれいごとではなく、町の現状の生の声を知りたいです。仕事や子育てなど議会に行けない方も多く、もっと具体的なかつ疑問に真つ向から向き合っていたきたいと感じます。

(30代男性)

いろいろな議案が出ていて、知らなかったことも多く、参考になります。いろいろな年齢層に手厚い町になることを期待しています。

(80代女性)

その他

町内会長の任命に、毎年大変苦慮しております。提案ですが、町として報酬による委任制にできませんか。数年後、高齢者ばかりで誰もやり手がおられません。急を要すると思われます。よろしくお願いします。

(60代男性)

第1希望の保育園に落ちました。これからまた違う保育園に申し込みます。妊娠中に夫の仕事の都合で東京から引っ越してきて、職場は東京のため、新幹線通勤を考えています。復職に関していろいろ不安なことがあり、同じような状況のお母さんと気軽にインターネット上で相談しあえるサイトがあればと思っています。

(30代女性)

お詫びと訂正

前号12ページの政務活動報告にて、表記に誤りがありました。次のとおり訂正してお詫びいたします。

聖友会活動報告
視察先がすべて「高知県」となっておりますが、「香川県」の誤りでした。

6月定例会は
6月1日(月)に
開会予定です
(本会議は10時開会です)

議員が聴く!



まちかどインタビュー



質問

- ①長泉町にはいつごろからお住まいですか。
- ②長泉町に住んでいて感じていることは。
- ③長泉町の良い点、不自由な点は。
- ④これからの長泉町に期待することはありますか。

①5年前

②とても住みやすい明るい町

③子どものことをしっかり考えている。

バスなどの交通手段が少なく、不自由している面がある。

④桜堤の桜はとてもきれいです。

人と人のかかわりができるイベントの開催を期待します。

(内藤さん)



①5年前

②とても住みやすい町だと思う。

③静かで住みやすい。三島駅に近い。

夜、街灯が少ない所がある。

④中学校にラグビー部を創設。

(宮原さん)



「〇ルながいずみ」
ヒント…フレスポ長泉にある
子育て支援センターです。



わが町 たんけんクイズ

Vol.132

ここはどこ？
でしょう！

町内にある施設などを出題します。○の中に入る言葉をお答えください。正解者の中から抽選で10人の方に図書カードを贈呈します。

応募方法

●はがき、FAX、応募フォームのいずれから、クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、議会ながいずみの感想を書いてお送りください（お寄せいただいたご意見は紙面で紹介させていただきます。場合があります）。

※メ切は5月29日（金）消印有効です。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

宛先

〒411-8668

長泉町中土狩828番地

長泉町議会

広報広聴常任委員会

応募フォームはこちら

前回の正解は

「防」災センターでした。

（応募総数50通 正解数50通）



編集後記

新型コロナウイルス騒動の中で新年度がスタート致しました。在宅している時間が増え、今までの「当たり前」のありがたみ、そして気にもとめなかった「無駄」に気づくといった声をよく耳にします。議会として、そうした声に耳を傾け、今この時こそがこれからの長泉をもっと良くするチャンスと考え困難な問題に取り組んでまいります。

木下 章夫



発行責任者

議長 柏木 豊

●広報広聴常任委員会

委員長 下山 哲夫

副委員長 下山 和則

委員 木下 章夫

委員 山田 勝

委員 米山 明智

委員 福田 晋治

委員 長野 祐喜

委員 加藤 祐喜